

就学前にお願いしたいご家庭でのサポート

ロンドン補習授業校は、「（日本の）学習指導要領に準じた国語教育を行うことを通して、帰国後の学校生活に適應できる素地を養う」ことを目的としています。単なる日本語を学ぶ語学学校ではなく、日本語を使い、日本の教科書を使って、日本の学校と同じ国語科の授業をおこなう学校です。この設置目的を十分ご理解の上で、下記によるご協力をお願いいたします。補習授業校では、学校を「第1の教室」家庭を「第2の教室」とよびます。両者の力があって子どもたちが仲よく伸びていくと考えています。そこで…、

<授業を楽しいものにするために>

●「日本語による会話」を心がけましょう。

「簡単な日本語なら分かる」「日常のあいさつは日本語で言える」「少しは自分の気持ちを日本語で伝えることができる」程度の日本語力では、担任の指示や学習内容が理解できず、学習の継続が難しくなります。十分な学習効果も期待できません。学習者である本人のためにも、ご家庭では「日本語による会話」「日本語による読み書き」を心がけてください。

<内容理解を深め、力を伸ばすために>

●生活体験を豊かにしましょう。

親子で一緒に遊んだり、本の読み聞かせをしたりするなど、様々な生活体験がその子の心をはぐくみます。生活体験を通して、自分の気持ちを相手に伝えたり、相手のことを思いやったり、想像力をふくらませたりすることができるようにしてあげたいものです。

生活体験が豊かな子は、語彙も豊富となり、文章の読解が容易になります。また、作文にもすぐれた表現が見られるようになります。

●人の話がしっかり聞けるようにしましょう。

補習授業校の授業は一斉指導が中心となります。きちんと席に座って教師の話聞き、授業に集中することができないと学習効果は期待できません。また、他の児童の学習の妨げにもなります。自分のためだけでなくまわりの友達のためにも、「他の人の話をしっかり聞くこと」が大切なことだと、ご家庭でお話ください。

●語彙を増やしましょう。

入学前には、どうしても文字の読み書きを重視してしまいがちです。国語学習においては、豊富な語彙を持つことが大切です。語彙が豊富な子は、内容理解がはやく、表現にも広がりがあります。「うれしい」などの表現を「飛び上がりたくなるほどうれしい」などと、自分の感情を豊かに表わすことができます。日本のDVDやビデオを見たり、クイズを出し合ったり、カルタ取りをしたり、さらに一番大切なことである親子の会話などを通して、子どもたちの語彙を増やしていきましょう。

<友だちと仲よく学習するために>

●あいさつができるようにしましょう。

「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」など、気持ちのよいあいさつができる子は、学校生活にも早く適應できます。また、円滑な人間関係を築くこともできます。日本語で基本的なあいさつができるようお願いいたします。入学式では、担任がお子さんの名前を呼びますので、大きな声で「はい」という返事をする練習も日常生活の中で進めてください。

<国語学習の意欲を高めるために>

●「日本環境づくり」をしましょう。

授業では、日本の国語の教科書を使用します。教科書には日本特有の言葉もたくさん出てきます。季節の節目の行事（端午の節句・桃の節句など）や風物詩などが登場しますので、ご家庭でも、日本の季節の行事や文化など話す機会を作ってください。日本の文化を理解することで国語学習への意欲にもつながります。